

平成 27 年度 評議員会開催



ふれあい 通 第 49 号 信

本郷中央地区社会福祉協議会

発行人 会長 亀澤 弘

第三期福祉保健 計画に向けて

本郷中央地区社会福祉協議会の平成 27 年度評議員会が、5 月 23 日（土）本郷地区センター会議室で開催されました。

① 平成 26 年度事業報告並びに同収支決算

② 理事・監事任期満了に伴う改選

③ 平成 27 年度事業計画案
並びに同予算案
来賓として栄区社会福祉協議会飯島敏子事務局長の激励のおこぼをいただきスタートしました。

「栄区制 30 周年」を来年迎えるにあたり身の引き締まるおもいで、各行事に取組みたいと思います。

◇平成 27 年度の地区社協の取り組み◇

- ・ 地区社協を理解して頂く為、広報紙を年 3 回全戸配布を行う。
- ・ 評議員の協力体制づくりのため研修会を行う。
- ・ 身近な問題として福祉施設等の実態調査及びマップの作成をする。
- ・ 財源確保のため賛助会員の募集を行う。
- ・ 支えあい連絡会協働事業として「町内会自治会訪問」「福祉講座」「福祉フォーラム」の活動を継続実施する。
- ・ 「三水会」「公田山百合会」「げんき」と共に



新しく「げんき広場」「ふくろうカフェ」を加え支援の充実をはかる。「敬老のつどい」は当会が事務局団体として実施する。

以上の事業推進には本郷中央地区町内会自治会の多大な理解と支援は必須なものです。

◇執行部人事◇

顧問 野村 政晴
細田 利明

会長 亀澤 弘
副会長 佐野 勝彦
監事 原 恒雄

監事 石黒 喜代子
事務局 木村 知恵子
会 計 大橋 美根生

特志賛助会員随時募集中
福祉の充実を図るため、是非とも皆様のご支援、ご協力を必要としております。

どうぞ当社会福祉協議会の趣旨をご理解頂き、一人でも多くの皆様に特志賛助会員にご加入頂きたくお願いいたします。

平成 27 年度の会員として多くの方から申し込みを頂いておりますが、引き続きよろしく願います。

◇賛助会員（年会費）
一口 一、〇〇〇円
（二口以上お願いいたします）

ご連絡いただいた方には本協議会役員および民生委員・児童委員などの関係者が集金にお伺いいたします。詳しくは左記へお問い合わせください。

事務局 木村知恵子
☎（892）0197

心あらたに

横浜市栄区

社会福祉協議会

事務局長



飯島 敏子

本郷中央地区のみなさま、
こんにちは。

栄区社会福祉協議会にこ
の4月に着任しました、飯島
と申します。

これまででは地域ケアプラ
ザ・老人福祉センターで直
接ご利用者様や地域の方と
接する業務に関わってきま
した。

2025年問題といわれる超高
齢化社会が目前に迫ってい
る中、住み慣れた地域で安
心して暮らしていくには公
的サービスだけでは十分で
はありません。同じ地域で
暮らす住民が互いに声を

掛けあい、見守り、つな
がり、支えあうことが大切
なっています。

区社協としても、地区社
協はじめ地域ケアプラザ
等関係機関と連携し、これ
までの個別支援と地域支
援を別々に進めるのでは
なく、個別ニーズに着目し
地域住民と共に個別課題
への対応を行ういくつかの
支援を行う新たなアプロ
ーチの方法として「身近な
地域のつながり・支えあい
活動推進事業」に取り組ん
でいます。

これまで個別支援や直
接的支援の場で培った経
験をこれからの区社協で
の地域支援に役立ていき
たいと思います。

不慣れなことも多々あ
りますが、「心あらたに」
職員一同、地域の皆さまに
頼りにされる区社協を目
指して頑張っていきたい
と思います。ご協力のほど
よろしくお願いいたします。



第32回本郷中央地区 ミニランピクニック

5月17日(日)、本郷中学
校校庭において第32回ミ
ニランピクニックが開催されま
した。

ミニランピクニックは、本郷
中央連合町内会自治会加盟
の訪問の家『朋』『径』が参
加する、栄区最大のスポー
ツイベントです。

これだけ大きな規模にな
ると、なかなか合同のイベ
ントを開催することは難し
いのですが、各自治会長さん

スポーツ推進委員、青少年
指導員、また各種協力団体
の支援で今年も開催する
ことが出来ました。

雨にたたられることも
度々あるこの大会です
が、この日は明け方まで
降った雨も止み、無風の
高い気温を気にしながら
も清々しい青空の元で、
絶好の運動会日和となり
ました。

準備体操を済ませたあ
といよいよグラウンドでの
競技スタートです。

子どもの一生懸命走る姿
に感動しながら、大人たち
の大きな声援が飛びます。

元気な子ども達の声がグ
ランドいっぱいにこだまし
ます。子どもの綱引きでも
例年に無く参加者が多く、
応援する大人の方が力が入
ってしまいました。

メデイシンボールも人
気競技の一つです。自治会
対抗競技でもあり、選手の
張り切り方も大変です。み
んな、ガンバレー!!!

午前中の最後の競技、ミニ
マラソンは、グラウンドから
たち川に架かる城山橋を渡
り、警察学校前の泪橋を渡
る、新緑が眩しいたち川プ
ロムナードを周回しました。

午後にもむかで競争や障
害物競走、そして大会の華で
ある対抗リレーなど楽しい
競技が続きました。

何はともあれ、大きなアク
シデントも無く無事に終了
することができました。主催
者初め関係役員の皆様には
早朝より本当にお疲れ様で
した。



私たちの地域福祉を支える人々

.....この方々に伺いました

植本 美春氏 (朝日平和台自治会長)



働き盛りに終
の住処として定
住して四十有余
年。私たちの街
もこうした住宅

地の一つです。

住民にとつては、これからの生き
方こそが大切だと考えています。

体力的には個人差が生じること否
めませんが、高齢者は社会の弱者で
はなく、培ってきた豊富な経験と知
識は尊重されるべきものと思います。

政策として、高齢者自立型継続的な
ケア付きリタイアコミュニティの構
想があるようですが、街には子ども
の声が聞こえ、若い人との交流が有つて
こそ活気のある潤いのある街と言え
るのではないのでしょうか。

高齢者にやさしい住環境は、若い
世代の住民にとつても魅力的で暮ら
しやすい筈です。

地域福祉についてはまだまだ学習中です。
全ての人が、人間として尊厳が全う
される世の中になって欲しいと思います。

西島 英生氏 (本郷中央第二福寿会長)



高齢化が進む
桂公田町会で、
シニアクラブの
一員として地域
の高齢者との交

流を図り、誰もが気楽に集まれる場所と
してのクラブを目指しています。

当クラブで行うイベントへの参加、関
連する他のクラブとの交流への参加の
時、家族の方に送り迎えをしてもらえ
る方も居ますが、自分一人では外出でき
ず、なかなかそのような場所に行かれな
い高齢者の方も居られます。

このような時に、ちよつとでも手助け
ができる機関があつてもいいのではな
いでしょうか。

一方、町内にも新しい家やマンション
が建ち、若い家族も増えてきているよう
にも思います。町内を歩いている時に、
子供の声が聞こえるのはすばらしいこ
とだとも思っています。

町内会自治会を通じて、若い世代の
方々と高齢者の方々の交流を期待致し
ます。

長瀬 淳子氏 (桂台第二
民生委員・児童委員)



少子高齢化に
よる様々な問題
に対し、今、行政
による公的支援
や様々な制度、民

間のサービスがありますが、それら
が問題の全てを網羅することはでき
ません。その制度やサービスを、必
要としている方々に最大限に有効活
用されるように、また、地域に住んで
いる一人一人が「毎日、元気に普通
暮らししていくことができる」ように、
情報を発信していく事が民生委員と
しての役目の一つと考えています。

自助、共助、公助の役割分担と連携
が今後ますます必要となるでしょう。
そういう中で「地区社協」は地域の実
状に合った福祉活動が可能であり、歯
車として大切な役割を担っていると
思います。今までの実績を継続すると
共に、さらに先を見据え、もっと若い
世代の方々を取りこみ、人材育成に力
を入れて福祉のすそ野を広げていく
事も大事なのではないでしょうか。

大橋 美根生氏 (湘南ハイツ北
民生委員・児童委員)



最近、わが家
の朝食のトース
トは、バターか
らマーガリンに
なりました。店

頭からバターが消え、ようやく見つけ
ても高くかつ小さくなっています。日
本はバターもまともに買えない国に
なつてしまったのでしょうか。「大砲
(戦争)とバター(福祉)は両立しな
い」という格言があります。お金のな
い者にはバターは贅沢だ、安いマーガ
リンで我慢しろということなのでしょう
でしょうか。

民生委員は「地域福祉の担い手とし
てのボランティア」と位置づけられ、
自動的に地区社協の会員にもなつて
います。社協の活動で気になるのは、
「自助、互助、共助」ということがや
たらと強調され、公助(公的責任)が
後方に追いやられていっているのでは
ないかと感じる事です。公助が前面に出
てこそ、自助、互助、共助が機能する
地域福祉への近道だと思つていますが。



地域で安心して自分らしい生活が送れるように

社会福祉法人 恵友会
横浜市栄区生活支援センター
所長 牛尾 浩一

横浜市栄区生活支援センター
タ―って知っていますか。
どこにあるの？あーすぷらざの線路を挟んで向かいの小菅ヶ谷地域ケアプラザの2階にあります。
何をしているの？心の病を持った方ひとりひとりが地域で安心して自分らしい生活が送れるよう、様々な応援をしています。



統合失調症やうつ病といった心の病は、特別な病気ではなく誰にでもおこる病気です。ただ、病気のために生活しづらい現状もある中で、生活支援センターは本人や家族に対して主に次のようなことを行っています。

①日常生活や対人関係で困っていることの相談を受けたり、必要に応じて訪問・同行も行っています。

②行政、関係機関、地域との連携を行い、ネットワーク作りや情報提供を行っています。

③仲間作りや地域交流で

人との支えあいや交流を行っています。

④地域で安心して生活が送れるような様々な支援を行っています。

また、区内のケアプラザ、家族会、町内会等に対しての説明会やイベント等を通して生活支援センターのことをより理解して頂けるよう努力していくと共に、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いしたいと思っております。

どうぞよろしく願います。

開館：毎月第2月曜日を除く毎日9時～21時です。

問合せ：(896) 0479
所在地：栄区小菅ヶ谷 3-32-12



地域通貨イタッチ券を使いましょう

有効期間
2009年11月1日
↓
2017年10月31日

- イタッチ券の有効期間は2017年10月31日までです
 - 有効期間が2015年10月31日までの券も引き続き有効です
- お問い合わせ先：イタッチ事務局（相原）090-9683-6099

敬老のついで

月日 **9月20日(日)**

時間 **13時30分**
～**16時00分**

場所 **栄公会堂**

内容 **当日のお楽しみ!**

☆おもてなしコーナー
もあります

★原稿募集★

当地区社協広報部では、地域の皆さんからの福祉の向上に関するものや福祉に係る団体の活動についてなど諸々の話題・意見などお待ちしております。

本紙は3月、7月、11月それぞれ発行予定ですのでいずれの場合も発行予定の前月末までに、左記の事務局までお寄せください。

本郷中央地区社会福祉協議会
事務局 木村知恵子
☎(892) 0197 (広報部)

編集委員
青木 功 長沼 勲
木村知恵子 西原 恵子
星 明男